

# 国民の声の受付・対応

## 受付体制の整備状況

- 外務省ホームページに「予算の執行や行政の無駄遣いについて」の受付窓口を設け、国民の声を受け付ける体制を整備。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/comment/mail/kokuminnokoe.html>

## 受付状況

- 平成22年4月より受付を開始し、これまで10件の意見をメールで受付。

## 意見の主な内容・対応状況

主な意見の内容	対応状況
中国へのODA供与は見直すべき。(7件)	中国の著しい経済成長に伴い、これまで対中国ODAの大半を占めていた円借款については2007年12月をもって新規供与を終了した(2007年度は円借款463億円を含む515億円から2008年度は無償資金協力と技術協力で54億円)。純粋な交流事業はODAによる実施は終了し、草の根レベルの相互理解の促進、両国が直面する共通の課題(我が国への越境被害、黄砂対策、感染症や、進出企業の予見可能性を高める制度・基準づくり)への取組といった分野に限定。
原発事故の風評被害対策としてのソーシャル・メディア発信者の日本招へいは不要。(2件)	ソーシャル・メディア発信者の招へいは、招へい者が自身の経験として復興の姿を目の当たりにし、その経験をソーシャル・メディアを通じて発信するものであり、日本の正確な姿を発信力のある第三者が発信するという点で重要。執行に当たっては、風評被害に真に効果がある人物の招へいに努めるとともに、招へい準備段階で被招へい者に対し本事業について綿密な説明を行い理解を得ることで、同人が招へい中及び招へい後に対外発信することを確約の上、招聘を実施している。

※その他1件